陽春の候、保護者の皆様には平素から本校教育の充実発展のためご支援・ご協力を賜りありがとうございます。さて、近年、様々な自然災害が発生し、多くの犠牲が払われたことを受け、今後、暴風や地震等の「緊急災害時」には、下記のように対応したいと考えておりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

〈気象警報発表時の対応〉

東部大阪に暴風警報発令時の対応措置 (寝屋川市は東部大阪です)	
児童が在校時の措置	児童が在宅時の措置
気象情報に注意し、下記の措置をとります。 ① 直ちに緊急一斉下校 をとります。 下校に際しては、児童の安全を第一に考え、 教職員の引率のもと、集団下校等の措置 をとります。 ② 緊急一斉下校が危険であると判断される場合は 、児童の安全に十分配慮の上、校内に待機させ、 保護者への引き渡しによる下校措置 をとります。 ③ <暴風警報解除の時> 児童を校内に待機させた場合、被害状況、特に道路の状況を把握し、適切な措置をとります。	気象情報に注意し、下記の措置をとって下さい。 ① 午前7時現在東部大阪に暴風警報発令中 の場合は児童の登校を見合わせ 自宅で待機 させて下さい。 ② 午前9時までに、暴風警報が解除 された場合は、 午前10時始業 とします。 ※給食は実施いたしますが、給食開始時刻・献立等については、状況に応じて対応します。 ③ 午前9時現在、暴風警報発令中 の場合は、 臨時休業 とします。
東部大阪に大雨・暴風等の特別警報発令時の対応措置	
児童が在校時の措置	児童が在宅時の措置
気象情報に注意し、ただちに命を守る行動をとるとともに、下記の措置をとります。 ① 児童の安全に十分配慮の上、児童を校内に待機させ、 保護者への引き渡しによる下校措置 をとります。 ② <特別警報ならびに暴風警報解除の時> 児童を校内に待機させた場合は、被害状況、特に道路状況を把握し、適切な措置をとります。	気象情報に注意し、下記の措置をとって下さい。 ① 午前7時現在東部大阪に特別警報発令中 の場合は児童の登校を見合わせ 自宅で待機 させて下さい。 ② 午前9時までに、特別警報ならびに暴風警報が解除 された場合は、 午前10時始業 とします。 ※給食は実施いたしますが、給食開始時刻・献立等については、状況に応じて対応します。 ③ 午前9時現在、特別警報発令中 の場合は、 臨時休業 とします。
災害や緊急事件が発生した場合の対応措置	
児童が在校時の措置	児童が在宅時の措置
市教育委員会の了承を得て、児童の安全に十分配慮の上、その時の状況に応じて「 緊急一斉下校 」または「 学校待機 」のいずれかを速やかに決定します。 「緊急一斉下校」措置の場合、「自宅」に下校する児童につきましては、教職員が付き添うなど、児童の安全確保を図り下校します。「学校待機」の児童は、学校より連絡をしますのですみやかに迎えをお願いします。	学校における安全が確保できない場合、市教育委員会の了承を得て、「 自宅待機 」または「 臨時休業 」といたします。学校より『メールねやがわ「校区情報」』および「さくら連絡網」により情報を配信しますが、被害の状況や程度によっては、学校からの連絡ができない場合も想定されます。その際にはラジオ等で情報を把握していただき、各ご家庭で対応していただきますようお願いいたします。

※上記の措置のほか、気象条件等その時の状況に応じて全児童が「学校待機」を継続する場合は、全家庭にお迎えをお願いすることがあります。

※いずれの場合も全家庭への一斉連絡は、学校より『メールねやがわ「校区情報」』および『さくら連絡網』により情報配信します。

※お仕事などで普段から留守にされているご家庭につきましては、一斉下校措置の際には、「集団下校で自宅に下校する」「学校待機とする」等その対応の方法について、お子さまと日頃からよく話し合いし合い、お子さまに理解させておいて下さい。

〈地震発生時の対応〉

児童生徒が在宅時の対応措置	
震度 4 以下の場合	震度 5 弱 以上の場合
原則、平常通り授業を行います。 ※被害状況によっては、臨時休業や始業時刻の繰り下げの措置をとる場合もあります。	臨時休業 とします。
児童生徒が登下校時の対応	
※大きな揺れを感じた場合、落下物がない場所等、安全な場所に一時避難し、揺れが収まった後、原則学校に避難する。	
震度 4 以下の場合	震度 5 弱 以上の場合
校舎等の設備点検を行い、異常が無ければ平常通り授業を行います。 ① <下校時の対応> 通学路の道路状況を把握、安全確認後、 教職員の引率のもと、集団下校等の措置 をとります。 ※保護者不在家庭に対しては、個々の実態に応じた措置をとります。	臨時休業 とします。 ① 全児童生徒を学校待機とし、 保護者への引き渡しによる下校措置 をとります。 ※保護者不在家庭に対しては、個々の実態に応じた措置をとります。
児童生徒が在校時の対応措置	
※大きな揺れを感じた場合、落下物がない場所等、安全な場所に一時避難し、揺れが収まった後、安全な場所に集合し、児童生徒の安否確認を行う。	
震度 4 以下の場合	震度 5 弱 以上の場合
校舎等の設備点検を行い、異常が無ければ授業を再開します。 ① <下校時の対応> 通学路の道路状況を把握、安全確認後、 教職員の引率のもと、集団下校等の措置 をとります。 ※保護者不在家庭に対しては、個々の実態に応じた措置をとります。	臨時休業 とします。 ① 全児童生徒を学校待機とし、 保護者への引き渡しによる下校措置 をとります。 ※保護者不在家庭に対しては、個々の実態に応じた措置をとります。

※登校前や登校時など、児童生徒の安全を第一に考え、保護者の判断において登校を見合わせるなどの対応をする場合、学校にその旨を連絡してください。

※緊急災害時の登下校については、よく見えるところに貼るなどしてご利用下さい。

学校TEL : 825-9004